

# 使用上のお願い

- 保温容器本体に直接材料や調味料を入れない。 サビ・腐食の原因。
- 保温容器ふたの上に調理鍋や調理器具を載せない。 変形・破損の原因。
- 汚れた状態やぬれた状態、内容器に料理を残した状態で放置しない。 サビ・腐食の原因。
- 保温調理中は保温容器ふた・内容器ふたの開け閉めをできるだけ減らす。  
内容物の温度が下がり、保温調理ができなくなる原因。
- 少量の料理で保温すると、温度が下がりやすく、保温効果が低下する原因となる。  
保温効果が低下し、腐敗などの恐れ。
- 内容器に入れる材料・調味料は「レシピブック」を参考に適量入れる。  
吹きこぼれたり、ものを汚す原因。

# お手入れの方法

- ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れをする。
- お手入れをするときは、やわらかいスポンジ以外は使用しない。
- においを防ぐため、こまめにお手入れをする。

部品名	洗い方	お手入れ方法
内容器 内容器ふた	○ 食器洗い乾燥機 ○ 丸洗い ○ つけ置き洗い ○ 酸素系漂白剤 × 塩素系漂白剤	スポンジに台所用洗剤を含ませ、きれいに洗い、ぬるま湯か水で丸洗いし、すぐに乾いた布で水分をふきとり十分に乾燥させる。 ※酸素系漂白剤を使用される場合は、漂白剤の注意表示に従ってください。
保温容器本体	× 食器洗い乾燥機 ○ 丸洗い × つけ置き洗い × 酸素系漂白剤 × 塩素系漂白剤	スポンジに台所用洗剤を含ませ、きれいに洗い、ぬるま湯か水で丸洗いし、すぐに乾いた布で水分をふきとり十分に乾燥させる。
保温容器ふた ※発泡スチロール内蔵	× 食器洗い乾燥機 × 流水洗い × つけ置き洗い ○ 布で拭きとり × 漂白剤	湯で薄めた台所用洗剤をやわらかい布に含ませ、固く絞り、汚れをふきとる。その後、乾いたやわらかい布で水分をふいてよく乾燥させる。

## お手入れの方法

お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

- 塩素系漂白剤は使用しない。 サビ・穴あきなど故障の原因。
- シンナー・ベンジン・金属たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。 傷・サビなど故障の原因。
- 保温容器本体のつけ置き洗いはしない。 変形・サビ・もれなど故障の原因。
- 保温容器ふたのつけ置き洗い・丸洗いはしない。 変形・サビ・もれなど故障の原因。
- 煮沸はしない。 変形・サビ・もれなど故障の原因。
- 長時間、汚れたままで置いたり、洗いが不十分な場合には、においが発生したり樹脂が変色するので注意する。
- 長時間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落とし十分乾燥させて高温多湿をさけて保管する。

# 仕様

品番	ACA-160
実容量	1.72L
本体サイズ(約mm)	(W237×D202×H181)
本体質量(約kg)	1.15

	材質	耐熱・耐冷温度
保温容器ふた	ポリプロピレン(発泡スチロール内蔵) 取っ手ステンレスカバー付き	80℃・-20℃
内容器ふた	ポリプロピレン	140℃・-20℃
内容器	ポリプロピレン	140℃・-20℃
保温容器本体	ステンレス鋼	—

# 修理を依頼される前に


次の項目について点検をおこなってください。いずれの場合にもあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症状	点検するところ	処置
保温調理ができない	保温容器本体が破損していませんか？ 保温容器本体に熱湯を入れ、20分～30分後本体を手でさわってください。	保温容器本体が温かい場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	保温中に保温容器ふた・内容器ふたをくり返し開けている。	保温中に保温容器ふた・内容器ふたを何度も開けると、料理の温度が下がります。その際は、再度加熱してください。
	料理の分量が少ない。	少量で保温すると温度が下がりやすく、保温効果が低下する原因となります。分量を増やすが、再加熱してください。
	大きめの材料を使用している。	大きめの材料で調理する際はしっかり加熱してください。不十分の場合は再度加熱してください。
異臭がする	寒冷地で使用している。	寒冷地での使用する際は、しっかり加熱し調理時間を長めにしてください。
	汚れが付着している。	きれいに洗い、十分乾燥させてください。

# 内容器セットのお求め方法

本製品の内容器セットは、別売をしております。本製品をご購入頂きました、販売店でお買い求めください。

別売商品	品番
内容器セット	ACA-UYS

**お客様相談窓口**  **0570-094891**

- 受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00  
月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
- ナビダイヤルがご利用いただけない場合 06-6453-9489
- FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589  
製品の型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・電話番号・FAX番号を記入のうえ、FAXでお問い合わせください。



## ピーコック魔法瓶工業株式会社

本社 〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号



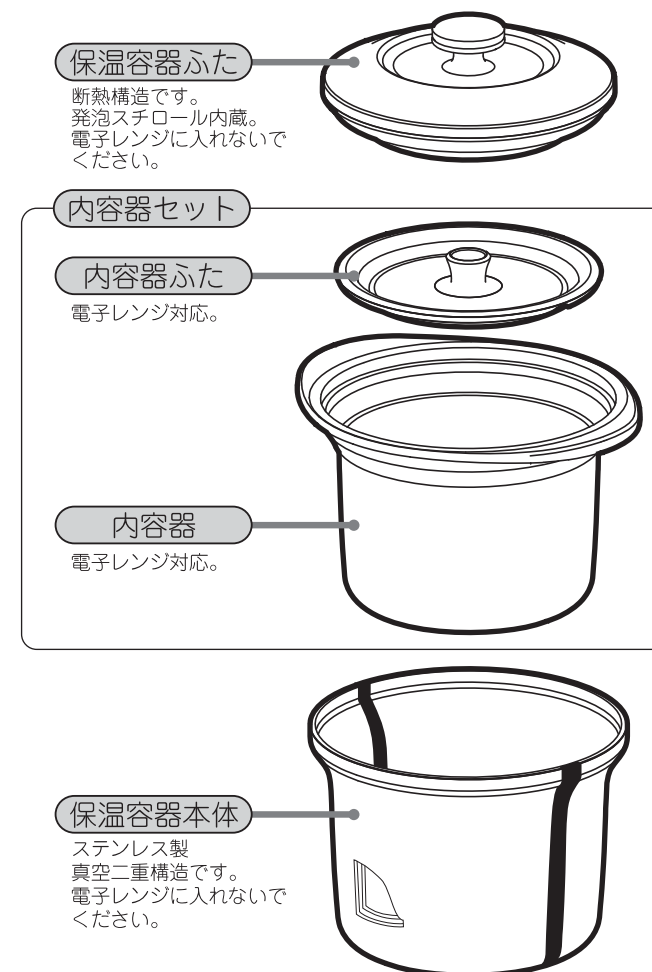
# リビングジャー

# ACA

# 取扱説明書

このたびは、電子レンジ保温調理器リビングジャーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

# 各部のなまえ



説明書中のイラストは、実際のものとは異なる場合があります。

# 後々のため、この説明書を大切に保管してください。①

# 安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

○製品やこの取扱説明書に示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。  
注意事項を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告	注意
人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。	人が傷害を負う可能性または物的損害のみの発生が想定される内容。

### 警告

乳幼児の手の届くところには置かない。またいたずらには注意する。 やけど・けがなど危険。	電子レンジから取り出す際は、十分注意する。 液体が突然沸騰して、吹きこぼれるおそれ。(突沸現象)	加熱後、内容器が熱くなっていますので、取り出す際や内容器ふたを開ける際には高温の蒸気に注意する。 やけど・けがのおそれ。
--	---	---

### 注意

飲食物の調理や保温・保冷以外に使用しない。 けがなどの原因。	保温容器本体は火にかけたり電子レンジ・電磁調理器(IHクッキングヒーターなど)で加熱しない。 やけど・破損・故障の原因。
電子レンジの自動メニューキーは使用しない。 変形・破損・やけどの原因。	本製品は電子レンジ専用です。オーブングリル機能では使用しない。 変形・破損・やけどの原因。
ご使用になる電子レンジの取扱説明書および安全上の注意を確認する。	多量の油を含む食品や油のみを入れての加熱はしない。 変形・破損・やけど・けがなど危険。

## 注意

本製品のレシピブックに書かれている加熱時間は目安です。食材の種類や大きさ温度によって加熱時間が異なります。また電子レンジの種類によっても加熱時間は若干異なる場合があります。

長時間の保温はしない。  
料理が完成したらなるべくお早めにお召し上がり頂くか、すぐに召し上がらない場合は、料理を常温に戻してから冷蔵庫に入れて冷やす。  
長時間保温すると料理の温度が少しずつ下がり腐敗の原因。

電子レンジ庫内は清潔に保ち、汚れがある場合は汚れを取り除いてから使用する。電子レンジ庫内の汚れを放置すると、発火や発煙の原因。

電子レンジ庫内の中央に置いてください。テーブルが回転式の場合、内容器が内壁に当たり、回転が止まらない様に注意する。  
やけどや内容物が温まらず腐敗の原因。

ストーブやコンロなど、火のそばや直射日光のあたる場所では使用しない。  
変形・変色の原因。

内容物を入れた状態で、車などに載せて移動しない。  
やけどをしたり、車内や衣服を汚す原因。

倒したり、落としたりぶつけたり強い衝撃や振動を与えない。  
変形・破損の原因。

内容器をセットした状態で保温容器本体を移動させない。  
やけどやけがの原因。

不安定な場所に置かない。  
転倒して内容物がこぼれ、やけどやものを汚す原因。

本体の底に貼ってある保護シールは絶対にはがさない。  
はがすと、保温(保冷)効果が低下するおそれ。

プラスチック袋(製品袋)を頭から被ったり、顔を覆ったりしない。  
窒息するおそれ。

材料・調味料の入れすぎには注意する。  
もれ・あふれ・やけどのおそれ。

色素の強い材料で調理する場合は、本製品に色移りすることがあります。

調理する材料によっては、本製品ににおいが残ることがあります。

水または水分のない状態で加熱はしない。  
変形・破損・やけどの原因。

改造・分解・修理は絶対に行わない。  
破損やけがなどのおそれ。

# ご使用方法

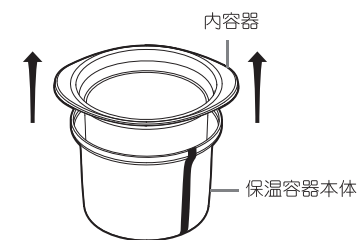
ご使用前に本製品を洗ってからご使用ください。

## 保温調理

材料を入れて電子レンジで加熱した内容器を保温容器本体に入れて保温調理を行う調理器具です。  
温めた材料の余熱と保温容器本体の保温力でじっくりと温め調理します。

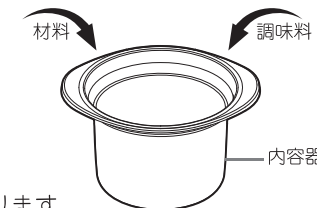
### 1 保温容器本体から内容器を取り出す

①保温容器本体から内容器を矢印の方向に取り出します。



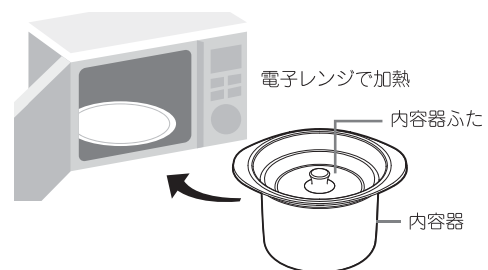
### 2 内容器に材料や調味料を入れる

①材料・調味料は「レシピブック」を参考に適量入れてください。  
※材料・調味料の量には注意してください。  
・内容器に入れる材料・調味料は内容器ふたより7分目までを目安としてください。  
・量が少ない場合は、保温調理ができない場合があります。



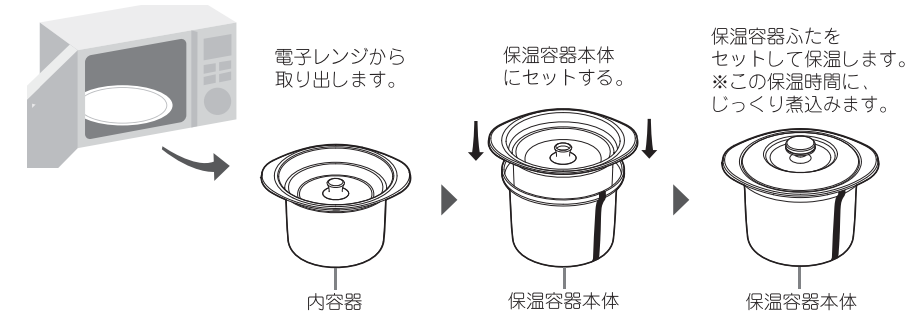
### 3 材料を入れた内容器を電子レンジで加熱

①材料を入れた内容器に内容器ふたをして電子レンジで加熱します。  
※加熱調理時間については別紙「レシピブック」を参考に設定してください。  
※電子レンジの機種・年式によって、時間は多少異なることがあります。  
※料理によっては、内容器ふたをせず電子レンジで加熱する場合があります。



### 4 保温容器本体に入れ、保温する

①内容器を、電子レンジから取り出し保温容器本体に入れ、保温容器ふたをして、保温します。  
※電子レンジから内容器を取り出す際は、十分注意してください。  
※保温調理中はなるべくふたを開けないでください。  
保温調理中に保温容器ふた・内容器ふたをくり返し開けると、温度が下がって保温調理できなくなる可能性があります。  
その際は、再加熱してから保温してください。  
※少量の料理で保温すると、少量で保温すると、温度が下がりやすく保温効果が低下します。  
その際は再加熱してください。



### 5 保温調理時間が過ぎたら完成

①保温調理時間が過ぎたら、料理は完成です。  
※長時間の保温はしないでください。  
料理が完成したらなるべくお早めにお召し上がり頂くか、すぐに召し上がらない場合は、料理を常温に戻してから冷蔵庫に入れて冷やしてください。  
長時間保温すると料理の温度が少しずつ下がり腐敗の原因になります。

